



平成25年1月10日 発行 No. 63
財団法人 愛知・豊川用水振興協会
〒461-0011 名古屋市東区白壁一丁目50番地
愛知県白壁庁舎2階
TEL (052) 961-8985
FAX (052) 961-9255
豊橋支所
〒441-8105 豊橋市北山町東浦6-2
TEL (0532) 37-4057
FAX (0532) 26-9595
岡崎支所
〒444-0860 岡崎市明大寺本町一丁目4番
愛知県西三河総合庁舎内
TEL・FAX (0564) 25-2667
協会HP URL <http://www.aitoyo.or.jp>



年頭にあたって

財団法人 愛知・豊川用水振興協会
理事長 松下 栄夫

新年あけまして、おめでとうございます。

皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素から当協会の業務運営につきまして、格別のご支援とご理解を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

昨年は、多くの方々が金環日食の興奮に続き、ロンドンオリンピックにおいて、日本選手の輝かしく活躍するテレビ中継に、夜が明けることも忘れて感動したかと思えます。

また、iPS 細胞発見により山中教授がノーベル賞を授与されたことは、日本の学術の高さと失敗にめげない勤勉さが大切であることを改めて教えてくれました。

一方、尖閣、竹島、北方領土など国家主権に関する深刻な外交問題が矢継ぎ早に起こり、加えて北朝鮮のミサイル発射など安全保障への懸念、内に在っては、東日本大震災の復興の遅れや原子力発電所稼働停止に伴うエネルギー問題、更には長引く経済の低迷など、国民が不安と焦燥に掻き立てられている中で、年末に総選挙が行われました。

新たな政府与党には、世論の動向や雰囲気になら流されず、客観的かつ公正に公共事業を評価していただき、とりわけ4割に削られてきた農業基盤整備事業を元に戻して、農地の整備が国土の保全に繋がると判断されることを強く期待しています。

さて、昨年は、空梅雨の兆しが現れてきたことから、節水対策を始めたのも束の間、近年稀な超大型の台風が続々と発生し、全国各地に甚大な災害をもたらしました。また、猛暑は秋を迎えても長々と続き、「辰」年であったためか竜巻による被害も目立ちました。

この年末年始は、例年になく寒さが厳しく、雪も多い冬になると言われていますが、緯度で見ると、愛知県はアフリカ大陸の北部に当たる位置にあっても雪を見ることができ、その雪が溶ける頃に、梅の香りに包まれます。

四季に恵まれ水に恵まれて育む日本のお米、「五風十雨」の年となりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

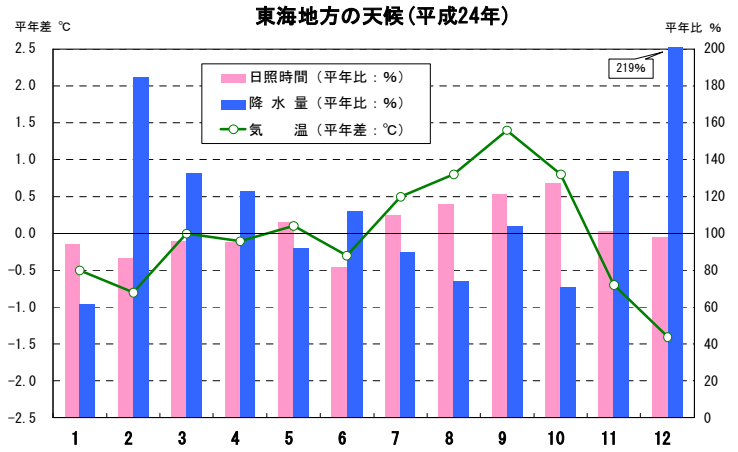
東海地方の天候と水源の状況

1 平成 24 年の天候の特徴

名古屋地方気象台 平成 25 年 1 月 4 日発表

○平均気温

冬は寒気の影響を受け、1 月と 2 月の気温は低くなりました。春は気温の変動が大きくなりましたが、月平均気温は平年並となりました。夏から秋は 7 月以降 10 月まで月平均気温は高めで推移し、残暑が厳しくなりました。11 月以降は寒気の影響を受けやすくなり、11 月や 12 月は低く推移しました。年平均気温は平年並（±0℃）となりました。



観測所： 四日市、三島、尾鷲、石廊崎、網代、伊良湖、浜松、御前崎、静岡、岐阜、名古屋、上野、津、高山

○降水量

2 月、3 月、4 月、11 月は多く、12 月はかなり多くなりましたが、他の月は平年並か少なくなりました。年降水量は平年並（107%）となりました。

○梅 雨

梅雨入りは 6 月 8 日ごろ、梅雨明けは 7 月 23 日ごろで、ともに平年並となりました。

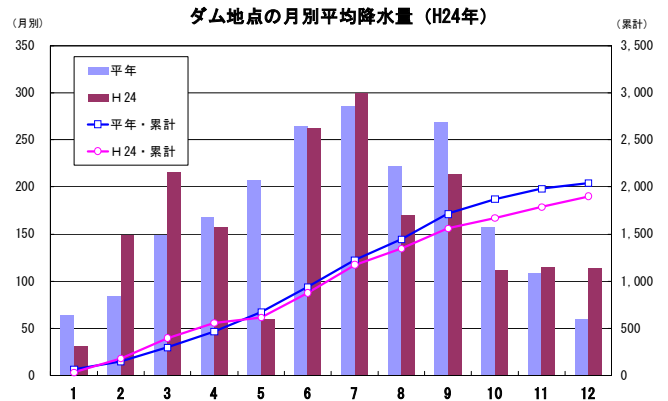
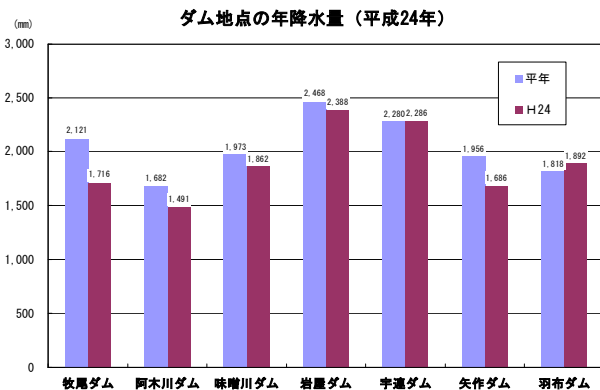
○台 風

2 つの台風が本州に上陸し、第 4 号は和歌山県南部に、第 17 号は愛知県東部に上陸しました。

2 ダム地点の降水量

ダム地点の年降水量は、宇連ダムと羽布ダムで平年より多くなりましたが、その他の地点では平年より少なくなり、7 地点の平均は 93%となりました。

月別の降水量のうち、特に 5 月は平年の 29%と少なくなりました。また、12 月は平年の 189%と多くなりました。



3 水源の状況と天候の見通し

○東海地方の3か月予報

名古屋地方气象台 平成24年12月25日発表

【気温】

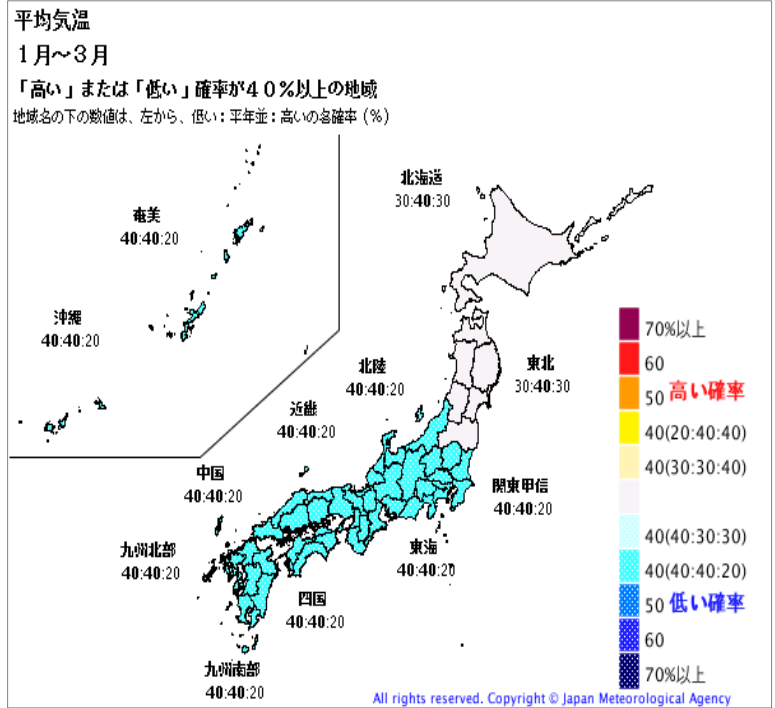
東海地方の3か月全般(1~3月)の平均気温は、右図のように低い確率が40%、平年並が40%、高い確率が20%となっています。

図中の色分けに沿って各月の気温の予報を±5段階にまとめると下表のようになります。

1、2月の平均気温は低めで、3月は平年並となっています。

気温	区分	予報確率	3か月	1月	2月	3月
高い	+5	x:y:70				
	+4	x:y:60				
	+3	x:y:50				
	+2	20:40:40				
	+1	30:30:40				
平年並	0	30:40:30			●	
低い	-1	40:30:30		●		
	-2	40:40:20	●		●	
	-3	50:x:y				
	-4	60:x:y				
	-5	70:x:y				

・予報確率の階級は、左から低い、平年並、高いの順
 ・x、yは、確率合計が100となる数字を示す



【降水量】

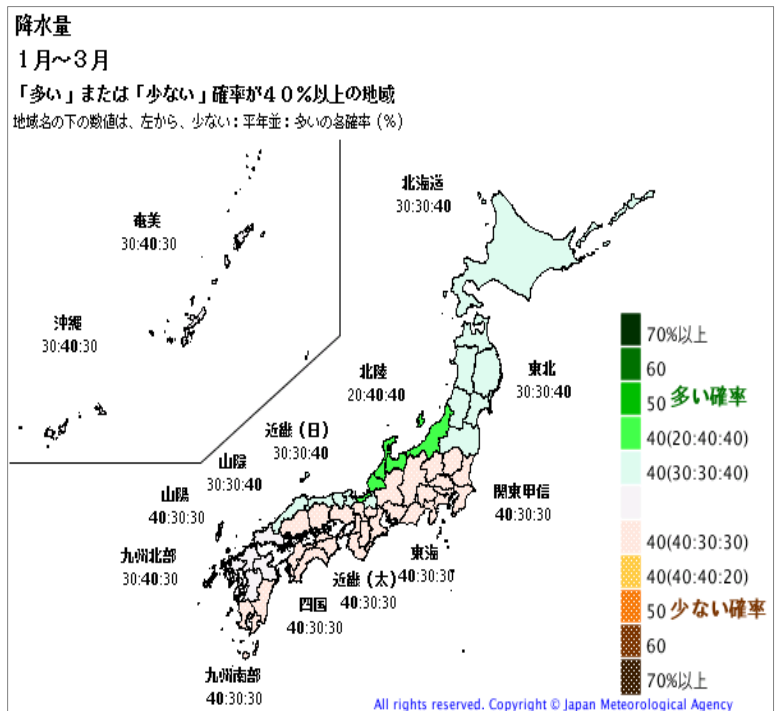
東海地方の3か月全般(1~3月)の降水量は、右図のように少ない確率が40%、平年並が30%、多い確率が30%となっています。

気温と同様に各月の降水量の予報を±5段階にまとめると下表のようになります。

1、2月の降水量は少なめで、3月は平年並となっています。

降水量	区分	予報確率	3か月	1月	2月	3月
多い	+5	x:y:70				
	+4	x:y:60				
	+3	x:y:50				
	+2	20:40:40				
	+1	30:30:40				
平年並	0	30:40:30			●	
少ない	-1	40:30:30	●	●		
	-2	40:40:20			●	
	-3	50:x:y				
	-4	60:x:y				
	-5	70:x:y				

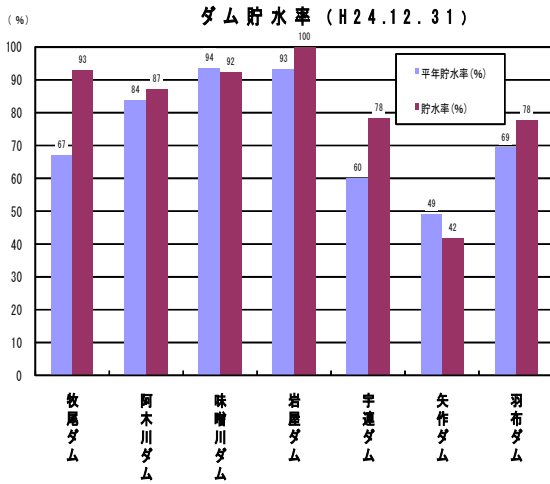
・予報確率の階級は、左から少ない、平年並、多いの順
 ・x、yは、確率合計が100となる数字を示す



○ダム貯水率

12月末現在のダム貯水率は、矢作ダムを除いて、平年並か平年より多い状況にあります。特に、牧尾ダムと宇連ダムでは平年を大きく上まわっています。

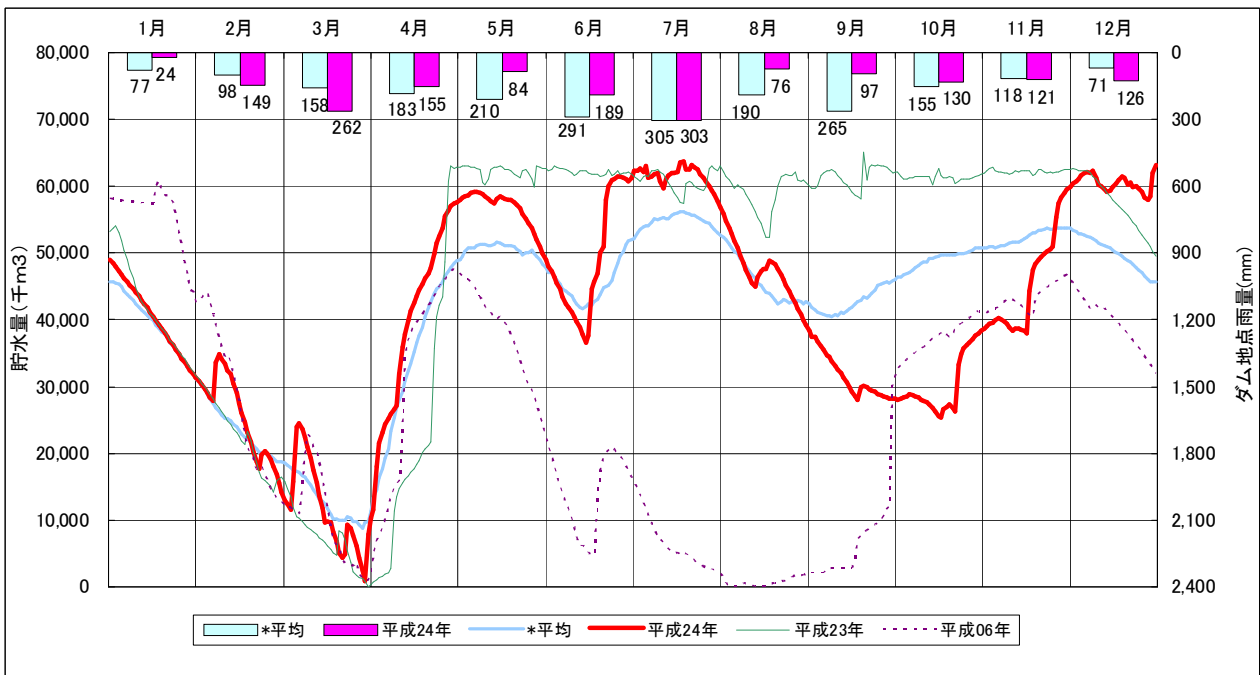
平成24年12月31日



水源	利水容量 (千m3)	貯水量 (千m3)	平年貯水率 (%)	貯水率 (%)	摘要
木曾川水系					
牧尾ダム	68,000	63,177	67.1	92.9	多い
阿木川ダム	22,000	19,179	83.9	87.2	平年並
味噌川ダム	31,000	28,597	93.7	92.2	平年並
岩屋ダム	61,900	61,900	93.2	100.0	やや多い
豊川水系					
宇連ダム	28,420	22,300	60.1	78.5	多い
豊川用水全体	51,820	42,761	70.8	82.5	多い
矢作川水系					
矢作ダム	65,000	27,200	49.2	41.8	やや少ない
羽布ダム	18,461	14,368	69.4	77.8	やや多い

牧尾ダムの貯水量曲線

有効貯水量: 68,000千m3

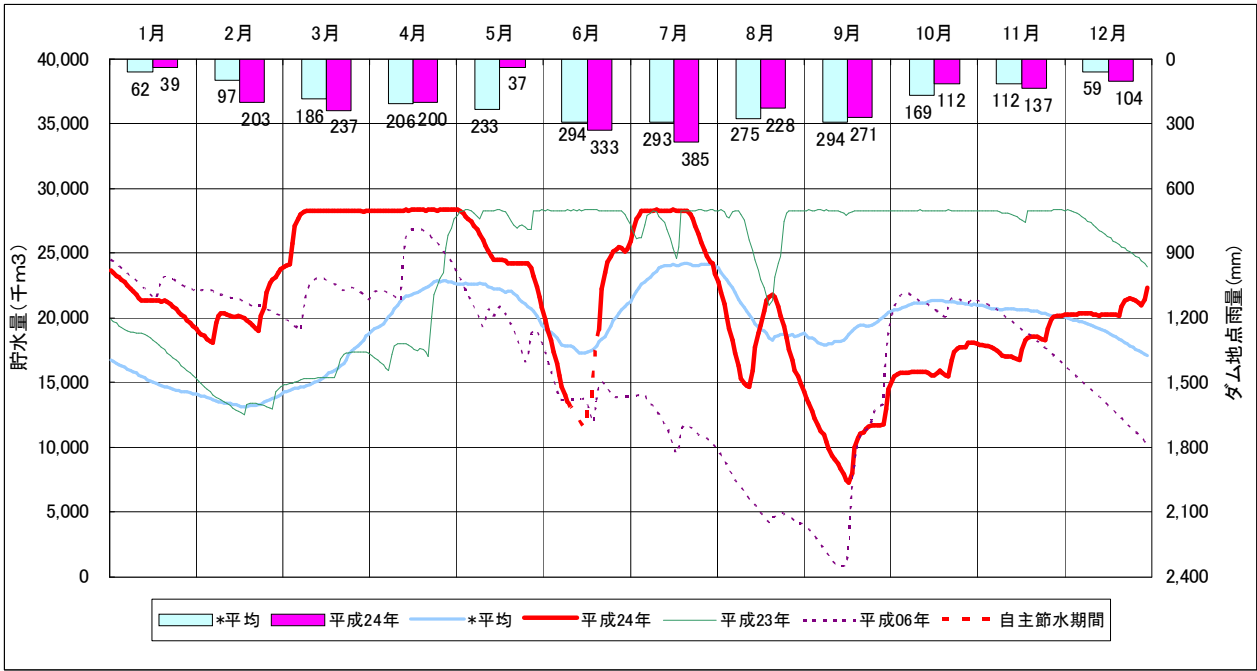


*平均: 昭和37年1月から平成23年12月

(データ提供: 独立行政法人水資源機構愛知用水総合管理所 URL<http://www.water.go.jp/chubu/aityosui/>)

宇連ダムの貯水量曲線

有効貯水量: 28,420千m3

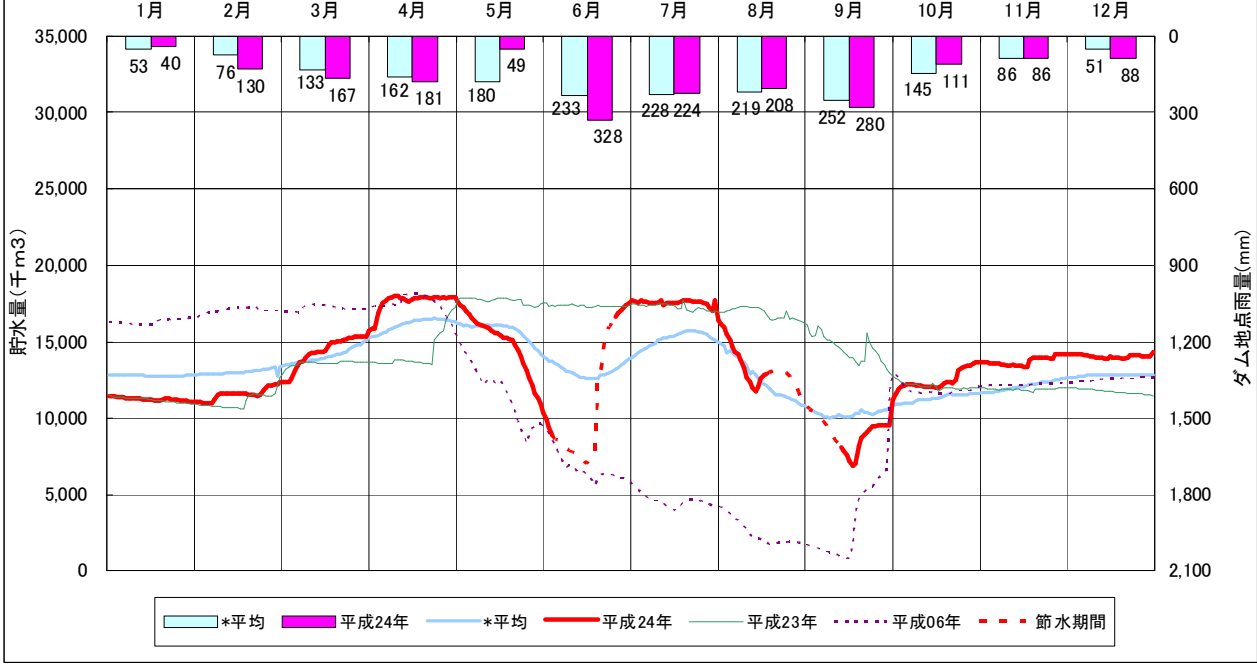


*平均: 昭和43年4月から平成23年12月

(データ提供: 独立行政法人水資源機構豊川用水総合事業部 URL<http://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/>)

羽布ダムの貯水量曲線

有効貯水量: 18,461千m3



*平均: 昭和39年1月から平成23年12月

(データ提供: 愛知県西三河農林水産事務所用水管理課 URL<http://www.pref.aichi.jp/0000012947.html>)

○ダム貯水率と3か月予報

12月末現在のダム貯水率、1月から3月までの気温・降水量の予報、及び1月から6月までの平年のダム貯水率の関係を示すと下図のようになります。

なお、牧尾ダムの貯水率は、主に発電に利用するための放流により、3月末に向けて低下し、その後回復しているものです。

